

# 特別支援学級 生活単元学習「みんなでつくろう！みどりたいそう」

## みどりの教室3・4・5・6学年 授業者： 大河原 山本 宮下

### 1 単元目標

#### (1) 知識及び技能

身体の動きを考え、自分たちの体操に取り入れることができる。

#### (2) 思考力、判断力、表現力

体の動きを分類、整理して体操を作り、検証・見直しを通してより効果的な動きになるように改善している。

#### (3) 学びに向かう力、人間性等

友達と協力して活動に取り組み、みんなができるように考えたり、優しく声を掛け合ったりしようとしている。

### 2 指導計画

時	学習活動
1	○体操にどんな動きがあるか思い出し、写真に撮る。(1回目)
2	○体操にどんな動きがあるか思い出し、写真に撮る。(2回目)
3	○撮った写真を見ながら、動かしている体の部位ごとに分け、似た動きをまとめる。
4	○整理した動きの中から、自分たちの体操に入れたい動きを選ぶ。
5	○体操に入れたい動きの中から、自分たちの体操に入れたい動きを選ぶ。
6	○体操に入れたい動きの中から最終的に使う動きを決める。
7	○決めた動きを実際にを行いながら動画に撮る。
8	○撮影した動画を見て、動きのつながりや行いやすさをみんなで検証する。
9	○改善点を話し合い、必要に応じて動きを修正し、再度動画に撮る。
10	○完成した「みどり体操」を、低学年の児童に紹介し、一緒に体操を楽しむ。

### 3 本時の展開

#### (1) 本時の目標

撮った写真を見ながら、動かしている体の部位ごとに分け、似た動きをまとめる。

#### (2) 本時の「選択」場面



#### 学習のねらいを達成するための有効な選択肢

体操の動きの写真を見て、どのような基準で分類するか自分で選択する。また、友達と相談して考えを交流するか、あるいは個人で考えを深めるかを選択する。

#### 教師の具体的な支援

児童の実態に応じて言葉掛けを工夫し、思考を促す支援を行う。

#### 一人1台端末の効果的な活用

体操の動きを端末で撮影し、客観的に見返すことできの特徴を捉える。



見どころ！！

(3) 本時の流れ

学習活動	☆指導上の留意点 ◇評価【観点：方法】
○本時の流れを知る	☆めあてをスライドで示し、今日の流れを簡単な言葉で説明する。  めあて しゃしんにとったうごきをぶんるいしてみよう。
○自分の考えで分類する。	<p><b>一人1台端末の効果的な活用</b> 体操の動きを端末で撮影したものを、客観的に見返すことで動きの特徴を捉える。</p> <p><b>選択：課題設定</b> 体操の動きの写真を見て、どのような基準で分類するか自分で選択する。</p> <p>☆分類の仕方に迷っている児童には、「体の部位ごと」「動かし方ごと」など、いくつかの分類パターンを提示し、考えを整理できるように支援する。</p> <p>☆分類のカテゴリーが少なすぎたり、多くなりすぎたりしている児童に対しては、具体的な動きと一緒に確かめながら、より適切な分類となるように言葉をする。</p> <p><b>教師の具体的な支援</b> 児童の実態に応じて言葉かけを工夫し、思考を促す支援を行う。</p>
○友達の分類を参考にする。	<p>A 自分の感じたことを伝えて交流する。</p> <p>B 友達の分類を参考にする。</p> <p>C 友達の分類を知る。</p> <p>D 個人で考えを深める。</p> <p><b>選択：学習形態</b> 友達と相談して考えを交流するか、あるいは個人でさらに考えるかを選択する。</p>
○自分の考え方を見直す	◇みどりたいそうに取り入れる動きを考えるために、体操の動きの写真を見比べ、動かしている体の部位などで分類している。 【思考・判断・表現：観察、FigJam】
○振り返りをする。	☆自分なりに分類ができたかどうか、どういった視点で分類をしたかをフォームに記入する。
○次時の流れを知る。	